

水系コンクリート劣化防止塗料 CC プロテクトコート

1. 特長

- (1) CC プロテクトコートは水系のため安全性に優れ、環境にやさしい塗装システムです。
- (2) 塗膜は打ち放しコンクリート面の風合を損わず、自然な仕上がりとなります。
 - ・コンクリート面が濡れ色になりません。
 - ・ツヤ消しクリヤー仕上げにすると、塗料を塗ったという感じを与えず、コンクリートの自然な仕上がり面が維持できます。
 - ・コンクリート面に多少のムラがある場合、ツヤ消しカラークリヤーを塗装することにより、均一な風合に仕上げることができます。
- (3) 塗膜の遮水性により、酸性雨や塩分を含んだ雨水の浸透を防ぎ、コンクリートの耐久性を持続させます。
- (4) 塗膜は通気性があり、水蒸気を呼吸することができます。

2. 種類

工程	塗料の種類	塗布量(g/m ²)	塗装間隔	荷姿
前処理	コンクリート躯体表面の付着物を除去し清掃する。表面の風化の激しい場合は高圧水洗により風化面を除去する。アンダーコートはコンクリート内部に浸透させる必要があるため被塗面は充分乾燥させ、含水率を10%未満にしてから塗装する。			
下塗	CC プロテクトアンダーコート	130~150	5時間-3日	15Kg
中塗	CC プロテクト トップコート	艶有クリヤー 艶消クリヤー	4時間	
上塗		艶消カラークリヤー	100~120	

ツヤ消しは3分ツヤ程度です。またカラークリヤーは酸化チタンにより若干の白味を出しています。

塗装はローラーまたは吹き付け塗装で行い、希釈はせずご使用ください。

5. 塗装および使用上の注意事項

1. 下塗から中塗に移る工程で、余り日数を置かないでください。下塗は日数の経過と共に徐々に撥水機能が出てきます。1週間以上放置しておくとう系塗料が弾いて濡れなくなる恐れがあります。
2. 下塗だけの塗装で、その撥水機能から透水防止はできますが、中性化防止には役立ちません。
3. 塗布量はコンクリート躯体表面の風化の状態で変動します。吸い込みの多い場合は十分に塗り込んでください。
4. 下塗は緻密なコンクリート面には浸透しません。このようなコンクリートはそれ自体水の浸透が殆ど無いものと考えられます。従って、下塗を省いて直接トップコートを塗装してください。
5. 気温5℃以下、降雨が予想される湿度90%以上の場合は塗装を避けてください。未乾燥の塗膜に雨が当たると流出してしまいます。
6. 安全衛生上の管理を充分に行ってください。
7. 器具の洗浄は水で行えますが、乾燥すると落ちません。この場合はラッカーシンナーをご使用ください。
8. MSDSをご一読ください。

